



報道発表資料の配付日時 2月2日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度北海道青年農業者会議における上川管内代表の結果について － 最優秀賞、優秀賞をダブル受賞 －		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概 要	<p>○ 1月26、27日に札幌市で開催された「北海道青年農業者会議プロジェクト発表(土地利用型作物部門)」において、「<u>大雪山麓倶楽部(美瑛町)</u>」が最優秀賞、「<u>NAT(ナット)(鷹栖町)</u>」が優秀賞を受賞。</p> <p>○ 最優秀賞の「大雪山麓倶楽部」については、3月2日から東京都で開催される<u>全国青年農業者会議に北海道代表として出場します</u>。大雪山麓倶楽部は2年連続の全国大会出場となります。</p> <p>【課題名】</p> <p>■プロジェクト発表(土地利用型作物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞：大雪山麓倶楽部(美瑛町) 「春よ恋に恋してる ～は種量・追肥による収量への影響～」 ・優 秀 賞：NAT(鷹栖町) 「乾湛な直播栽培」 <p>※ 北海道青年農業者会議の受賞者一覧については添付のとおりです。</p>		
参 考	<p>【北海道青年農業者会議】</p> <p>主催：北海道アグリネットワーク(北海道4Hクラブ連絡協議会) 公益財団法人北海道農業公社、北海道</p> <p>目的：北海道農業の担い手である若者達が一堂に会し、日頃の実践活動で身につけた農業技術・経営改善の知識等情報交換を行い、相互交流を深めることにより、たくましい農業経営者として必要な資質向上を目指す。</p> <p>内容：全道各振興局から選抜された4部門19課題の発表等。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	同一管内で同一部門をダブル受賞することは極めて稀なため、積極的な取材をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担 当 (連絡先)	上川総合振興局産業振興部農務課 (担当者：主幹 後藤) TEL ダイヤルイン 0166-46-5962 (内線 2702)		

令和4年度 北海道青年農業者会議 受賞者一覧

令和5年1月27日

○アグリメッセージ発表

	受賞名	課題名	発表者	所属グループ
アグリ メッセージ	最優秀	豚と取り組むSDGs	ニシカワ ユウキ 西川 雄喜	様似町 (日高／様似町)
	ドリーム賞	家族と一緒に上手く仕事する方法 ～我が家の場合～	シバタ トモヒロ 柴田 知浩	ながぬま4Hクラブ (空知／長沼町)
	アピール賞	自身を持って言えること	ヤマザキ ミスズ 山崎 未鈴	小平町4Hクラブ (留萌／小平町)

○プロジェクト発表

	受賞名	課題名	発表者	所属グループ
園芸・特産 作物部門	最優秀賞	「四季成りイチゴ高設栽培 3年間の取り組み」	ムラカミ イツキ 村上 一騎	羽幌町・初山別村ピンクファイブ (留萌／羽幌町)
	優秀賞	！専守防衛！トマトを夏の暑さから守り抜け！ ～遮熱・遮光資材の効果検証～	イケウチ ヒデユキ 池内 秀行	平取町4Hクラブ (日高／平取町)
	優秀賞	肥料高騰に備えて ～たまねぎ編～	コザキ ヒカル 小崎 光	上湧別町コミットクラブ (オホーツク／湧別町)
土地利用 部門	最優秀賞	春よ恋に恋してる ～は種量・追肥による収量への影響～	トオル コウキ 通 昂希	大雪山麓倶楽部 (上川／美瑛町)
	優秀賞	乾溼な直播栽培	フナネ ジュンキ 舟根 純貴	NAT (Next Agri Takasu) (上川／鷹栖町)
	優秀賞	パンツって食べたことある？ ～微生物目線です～	ホソカワ タクミ 細川 琢未	訓子府町4Hクラブ (オホーツク／訓子府町)
畜産経営 部門	最優秀賞	放牧地の泥ねい化対策 (Season II) ～誇れる牧道へ～	ナギラ ダイキ 柳楽 大樹	豊富町4Hクラブ (宗谷／豊富町)
	優秀賞	良い牛作ろう！ゲノムで改良 ～この遺伝子をお前に授ける～	ヒサスエ ショウマ 久末 彰真	根室市4Hクラブ (根室／根室市)
	優秀賞			
地域活動 部門	最優秀賞	「できることリスト」β版 公開発表LIVE！	コウザイ ルリコ 香西 瑠理子	士幌町畑作農業青年ゼミナール (十勝／士幌町)
	優秀賞	熱いぞ！留萌！ ～連協消滅の危機からの復活劇～	アキヤマ ナオト 秋山 直人	留萌管内4Hクラブ連絡協議会 (留萌／初山別村)
	優秀賞	農家にふれて変わる未来 ～栗山から羽ばたく天使たち～	オギノ ジュンイチ 萩野 隼一	栗山町4Hクラブ (空知／栗山町)

春よ恋に恋してる

～は種量・追肥による収量への影響～

プロジェクト発表

土地利用型

春よ恋に恋してる～は種量・追肥による収量への影響～

通 昂希

共同

大雪山麓倶楽部

1 取り組みきっかけ

春まき小麦の作付け面積は平成23年から令和3年までの10年間で221ha増加した。理由として美瑛産の春まき小麦、春よ恋は強力粉としてパン作りに利用されており、需要も増えている。輪作体系においても重要な役割を担っているが、各農家と大雪山麓倶楽部会員で収量にも大きくバラつきがあり、ほかの作物と比べて収益性も低いことから、大雪山麓倶楽部では、は種量追肥の検討を行い、収益性があり美瑛町に適した、新たな栽培基準を作りたいと思ったからである。

春小麦の選定理由

各農家で収量はバラバラ
ほかの作物と比べ収益性が低い

は種量 追肥を検討したい

2 取り組み内容

5年間の取り組み

1～5年目(H29～R3年度)
春まき小麦のは種量追肥試験

結果

は種量慣行30%減の
238粒/10aが良い？

今年度の取り組み

今年度(R4年度)の取り組み

は種量 追肥
6年目(R4年度)
プロジェクトデータ検証

穂に焦点を当てた調査

耕種概要

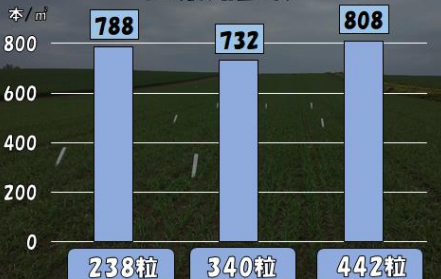
作物(品種) 春小麦(春よ恋)
 作種日 4月16日
 は種日 施肥日
 は種量 慣行播種量 340粒/㎡ (14kg/10a)
 慣行少 238粒/㎡ (10kg/10a)
 慣行多 442粒/㎡ (18kg/10a)
 畝間 12.5cm
 収穫日 8月1日
 前作物 黒大豆
 肥料銘柄 88532
 施肥量(kg/10a) 80kg
 成分換算(kg/10a) 窒素:12 P:酸:18.4 K:11.96 苦土:4
 追肥銘柄 確安
 追肥日 6月17日(止葉期)
 追肥量(kg/10a) 窒素:4.2kg 8.4kg

試験区割

は種量	238粒/㎡	340粒/㎡	442粒/㎡
追肥量	8.4kg/10a	8.4kg/10a	8.4kg/10a
	4.2kg/10a	4.2kg/10a	4.2kg/10a
	追肥無し	追肥無し	追肥無し

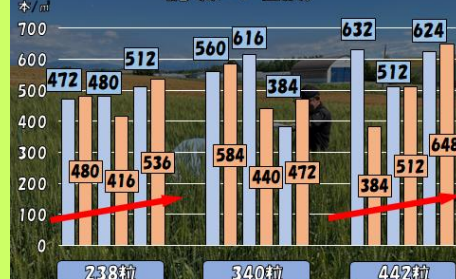
3 試験結果

止葉期茎数



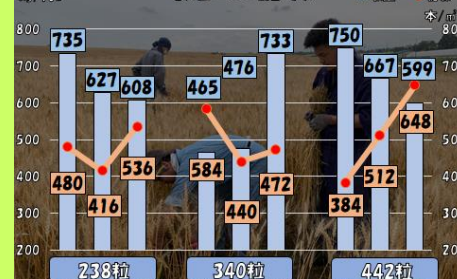
大きな差は見られなかった

穂数の増減



慣行区以外は 追肥した区で
ほぼ増加した

収量と穂数



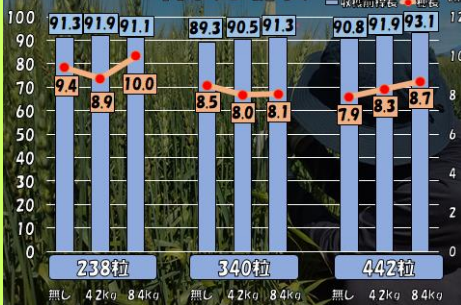
相関はなかった

千粒重



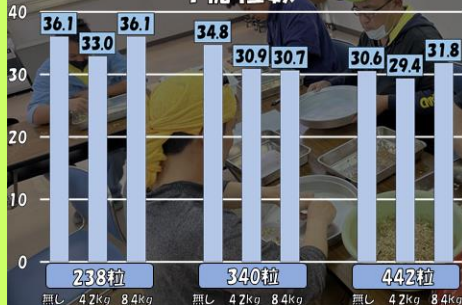
千粒重は止葉期追肥をすると増加する

穂長と穂長



238粒が穂長は長い

1穂粒数



238粒の1穂粒数が多くなっている

4 考察

穂長は長くなる
は種量 少ないと
一穂粒数は増加傾向

窒素吸収が十分だった？

止葉期の追肥の効果

千粒重の増加に影響

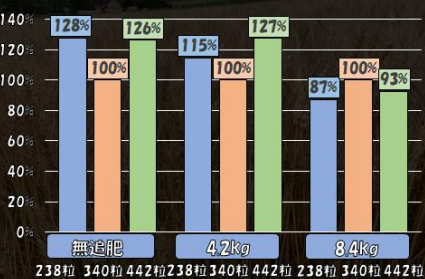
R4年度各試験区春小麦収支 円/10a

	売上	費用	収益
238粒/m ² 無し	81,339	58,364	22,974
238粒/m ² 4.2kg	78,315	62,230	16,085
238粒/m ² 8.4kg	78,584	66,519	12,065
340粒/m ² 無し	63,803	58,370	5,433
340粒/m ² 4.2kg	73,327	63,851	9,476
340粒/m ² 8.4kg	82,955	69,346	13,609
442粒/m ² 無し	79,998	62,720	17,278
442粒/m ² 4.2kg	89,978	68,260	21,718
442粒/m ² 8.4kg	90,226	72,547	17,680

※モデル営農類型をベースに種子代
肥料代、乾燥料から費用算出

5 まとめ

平均収量 慣行区比較



は種粒数238粒/m²の場合

- メリット
 - 年度ごとの平均収量より多収
- デメリット
 - 高収量になりづらい
- 備考
 - 1穂粒数が多くなる傾向

は種粒数442粒/m²の場合

- メリット
 - 高収量が期待できる
- デメリット
 - 過繁茂によるうどんこ病の増加
 - 雨で追肥が効かないと増収に繋がりにくい
 - 年によっては慣行は種量よりも減収する

追肥による増収は見込めるが肥料
価格が高騰した場合 収益性が悪い

上がり方が悪く 収穫が遅れる

6年間から238粒無追肥は他試験区
より収量性、収益性が安定している

このため

は種量

238粒/m²無追肥が良い

6.今後に向けて

麦作部会や青年部研修で
春小麦プロジェクトの結果を報告

1. 背景

鷹栖町農業は水稻栽培が主体。現在抱える課題として次の2点があり生産性向上が急務である。そこで、NATでは直播栽培に着目して栽培試験を行っている。

2. 従来の直播栽培

2-1. 直播栽培とは。

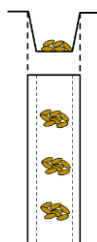
移植栽培：育苗ハウスで苗を育ててから田植え機で移植する方法。

直播栽培：圃場に直接種もみを播種する方法。

播種方式は、『条播』『点播』『散播（ばらまき）』がある。

栽培方法は、乾田に播種する『乾田直播』と湛水に播種する『湛水直播』がある。

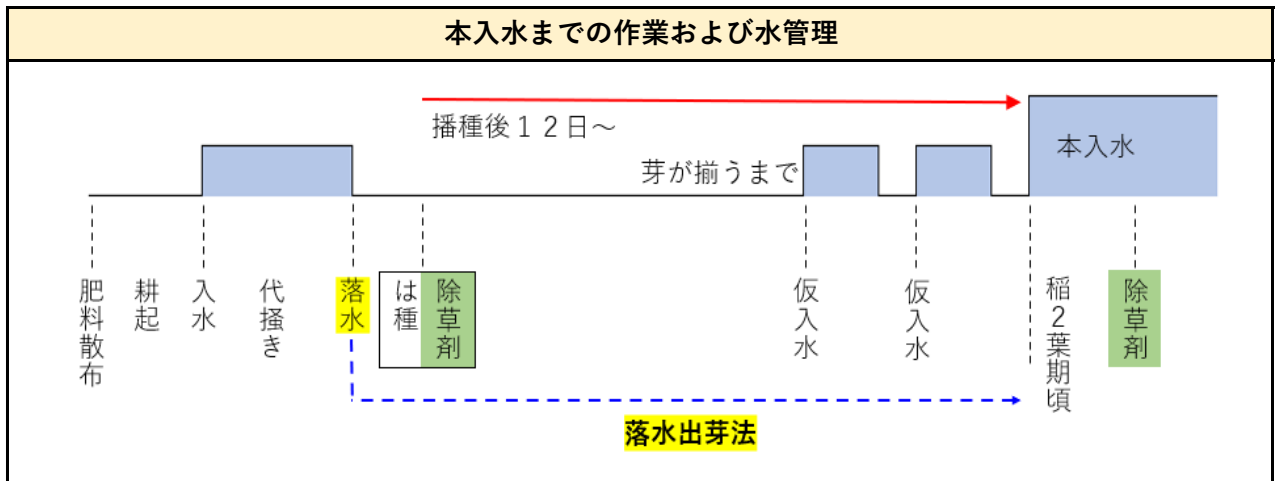
2-2. 従来の栽培方法



栽培方式：**点播**

→溝に種もみを播種する方法

栽培方法：**湛水直播**



現在北海道の基本技術である、『落水出芽法』が基本。

Point: 播種後、芽が揃うまで入水しない。（目的：苗立ち率向上）

除草剤の体系は、『播種同時処理』+『本入水後の処理』の2発が基本。

2-3. 収量（対直播部会）

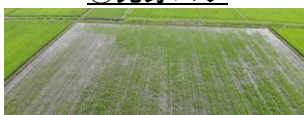
	H28	H29	H30	R1	平均
部会平均	493	484	393	535	476
舟根家	547	430	347	491	453

収量比95%

3. 問題点とその対策

【問題点】

①発芽ムラ



②雑草



③倒伏



3-1. 発芽ムラ改善

要因：種もみが土に埋没し酸欠状態で枯死

原因：播種時の圃場状態が悪い。

(滞水箇所、土が柔らかすぎ)

良好 (種が見える)

不良



但し、我が家の圃場は粘土が強いこと、また、大型圃場(2~4ha)より、調整が困難である。

対策：栽培方式を『点播→散播(ばらまき)』に変更



散播(ばらまき)

→種もみを空中からばら撒く方法

点播のように圃場状態に影響されない。
また、表面播種のため生育が安定する。

3-2. 倒伏問題

要因：過剰な苗立ち本数(180本/m²)

(穂数過剰—理想600本程度)

原因：圃場内の発芽ムラがあって、生育の悪い箇所を無視できないため。

対策：散播(ばらまき)によって発芽ムラは改善されたため、適正播種量とする。

倒伏軽減剤未使用で、倒伏1割程度
苗立ち本数は120本で問題なし

【R2 直播部会生育状況(平均値)】

播種量 : 10 kg / 10 a

苗立ち本数 : 190 本 / m²

出穂期茎数 : 950 本 / m²...①

穂数(推測) : 860 本 / m²...① × 0.9

重要：ばらまき

【R4 実績(舟根)】

播種量 : 7.5 kg / 10 a

苗立ち本数 : 113 本 / m²

出穂期茎数 : 703 本 / m²

穂数 : 624 本 / m²

3-3. 除草問題

要因：『落水出芽法』 + 『播種同時処理』の組み合わせが最悪

原因：落水出芽法は、芽揃いまで入水しないため、除草剤が溶けない。

対策：『落水出芽法』をやめて、播種後する入水。

また、その後も間断灌水(3湛2落)で水管理。

『間断灌水(種もみ乾燥防止)』 + 『散播(発芽ムラ防止)』

→生育安定 = 播種~本入水までの期間短縮

その結果、播種同時処理も必要なくなり、一発処理が実現



4. 効果算出—粗利益比較

項目	単位	移植	直播(改善前)	直播(改善後)	備考
品種		ななつぼし	えみまる	えみまる	
収量	kg / 反	570	約490	約532	6か年地区平均517kg
収量比	%		(95%)	(103%)	(えみまる)
単価	円 / 反	12,000	11,300	11,300	
粗収益	円 / 反	114,000	92,500	100,300	10の位 四捨五入
農薬肥料	円 / 反	▲22,200	▲28,600	▲21,200	〃
設備作業費	円 / 反	▲26,700	▲13,600	▲10,700	〃
乾燥調製	円 / 反	▲12,400	▲10,600	▲11,500	〃
粗利益	円 / 反	52,700	39,700	56,900	〃

※間接費、交付金等は含まない。

(税込み)

以上